

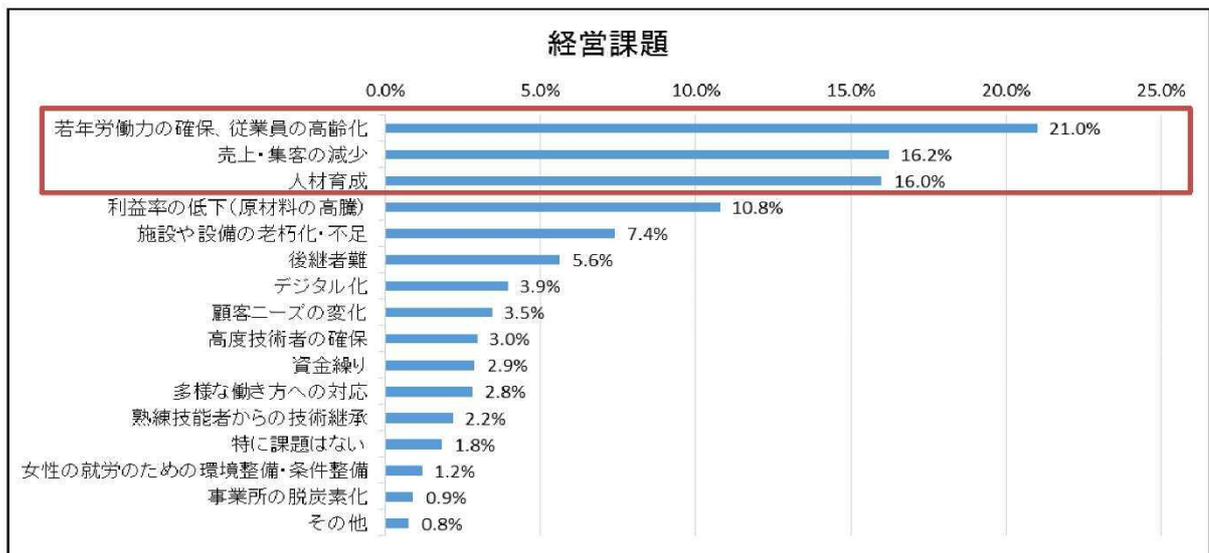
事業所意識調査について

- 1 調査目的 令和5年度からの新しい総合計画（第7次基本計画）の策定に向け、今後のまちづくりの方向性や具体的な施策検討の参考とするため。
- 2 調査対象 苫小牧市内にある事業所 2,000 件（無作為抽出）
- 2 調査時期 令和4年1月7日～2月16日
- 3 回収率 有効回収数 758 件／回収率 37.9%
- 4 調査項目

問 1 所在地	問11 人口減少の実感
問 2 立地してからの年数	問12 人口が減少することでの影響
問 3 業種	問13 人口減少に対する施策
問 4 従業員数	問14 胆振東部地震や東日本大震災の発生による、防災対策への関心度の変化
問 5 立地条件の苫小牧市と他市の比較	問15 ①事業所で取り組みが必要と感じる防災対策
問 6 事業環境の満足度と重要度	②実際に取り組んだ防災対策
問 6-2 特に重要度が高いもの	問16 新型コロナウイルス感染症の影響
<u>問 7 経営課題</u>	問17 コロナ禍での事業継続のための取組
<u>問 8 今後取り組む必要があること</u>	問18 必要な支援
問 9 苫小牧市の産業の活性化	問19 カーボンニュートラルの取組状況
問10 勤労者対策	

5 調査結果（抜粋）

(1) 経営課題について

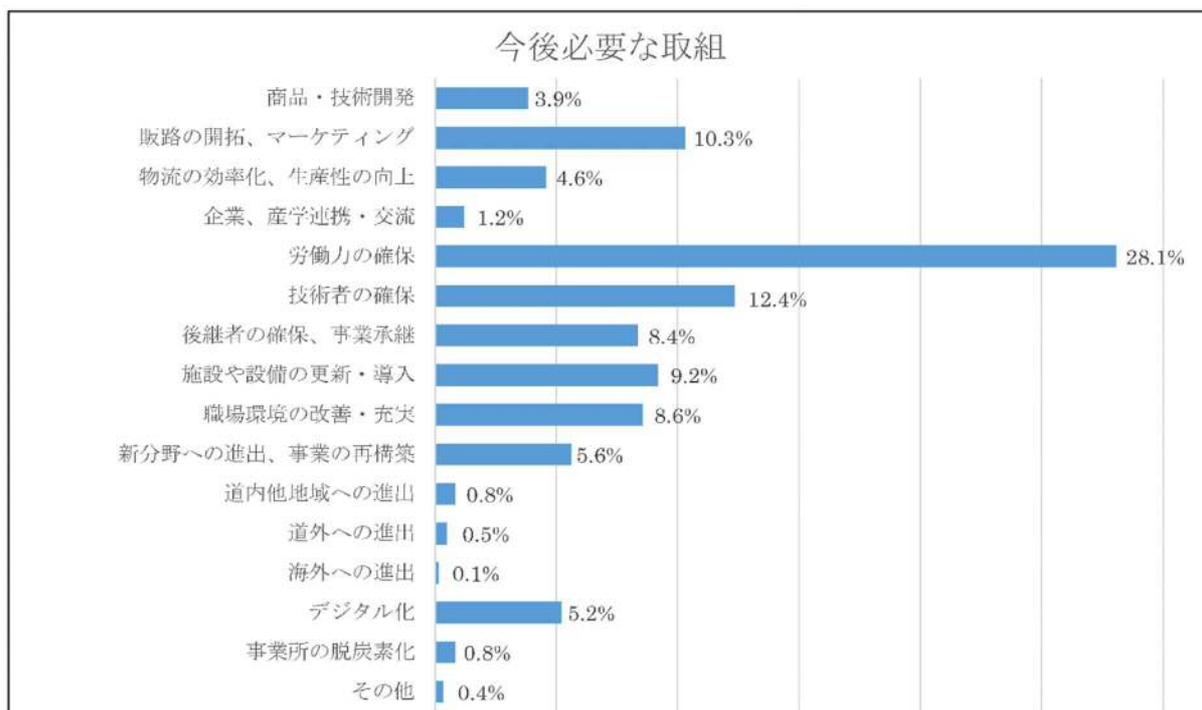


資料: 苫小牧市「事業所意識調査報告書(令和4年5月)」より

○事業者が抱える経営課題としては、「若年労働力の確保、従業員の高齢化」が最も多く、「売上・集客の減少」、「人材育成」などが上位となっている。

○業種別の経営課題は前表を参照。卸売業・小売業」では「利益率の低下」が、「建設業」や「宿泊業・飲食サービス業」では、「施設や設備の老朽化や不足」となっており、こういった要因も事業所数の減少理由の一つと考えられる。

(2) 今後必要な取組について



○経営するうえで今後必要な取組については、「労働力の確保」が最も多く、次いで「技術者の確保」となっており、働き手に関する取組を必要と挙げる企業が多くなっている。